

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
学校便り 第5号
文責：校長 川端 保成
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

「七月豪雨災害」の教訓

～想定外を想定した危機管理？～



これは7月7日の熊日新聞の一面です。おりしもこの日は七夕の日であり、晴れていれば夜空を眺めて、誰もが思い思いに願いを掛けていたはずですが、しかし、大雨の警報は数日前から警戒されていたにもかかわらず、甚大な被害を生じてしまいました。被災された方々や、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

命を守ることに、特に学校においては、たくさんのお子たちの命をお預かりして学校教育を行っています。東日本大震災の際にも、その大きき取り上げられましたが、先日も緊急時引き渡し訓練を実施しましたが、今後ともさまざまな場面、子どもたちの命に関わることに、たとえそれが「空振り」であろうと、命を優先して判断していきます。突然のメール等でのお願いへの、ご理解とご協力をお願いします。

いじめや差別のない学校づくり

～子どもたち自らの手で！～

去る6月23日の朝、児童会執行部のメンバーが各教室へ「心のきずなを深めよう5か条」を宣言してくれました。今年度は「助け合い、みんなの笑顔を増やそう」と決め、誰もが楽しく過ごせるよう、お互いに呼びかけていきます。



また、1階ホールには、日頃伝え切れていない「ありがとうのあじさい」が満開になっています。「...で優しくしてくれて、学校が楽しいです。」などと、一人ひとりの感謝の気持ちが込められています。子どもたちの純粋な気持ちや、学校だけでなく、家庭内や地域へも広がればいいなど、優しい気持ちになりました。この1年生が描いてくれた絵のように、みんなが笑顔で暮らせる学校を目指します。



今までで一番「短い夏休み」が始まります。

年度当初から続いた休校期間中の学習の遅れを取り戻すために、例年40日ほどの夏休みが、宇城市全小中学校で14日間に短縮して実施されます。本年は8月5日から8月18日までとなりますが、例年より短い夏休みです。だからこそ、今まで以上に計画をしっかりと立てて迎える必要があります。

ご家庭でも帰省や旅行等、長期休業中でないことを計画されているかと思いますが、子どもたちの生活リズムや家庭学習は当然のこと、今年は健康管理の面でも「かからない、うつさない」ことを前提にして、計画していくことが必要になります。世の中では、まだまだ「収束」とはほど遠い状況にありますが、その中で休みをどう過ごすかが大切です。

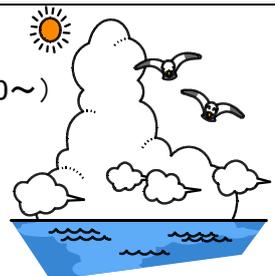
そして、2週間後にまた元気な笑顔で再開できることを楽しみにしています。



延期が決まった東京オリンピック開催1年前の7月23日、全世界に向けてメッセージが発信されました。競泳の池江璃花子選手が、自らの辛い体験を通して、「希望が遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくとも前を向いて頑張れる」と語ってくれました。さらに「どんなに小さな努力でも、それが無駄だとは決して思わない」とも。オリンピックを目指すアスリートに勇気を与えてくれるこのメッセージは、子どもたちへのメッセージでもあると私には感じられました。と同時に、「遠くに輝く希望」を子どもたちに抱かせるのは、私たち大人の大きな責任のようにも感じられました。みなさんの心には、どう届きましたか？

8月の行事予定

- 3日 PTA役員会(18:30～)
- 4日 休み前集会
- 5日 夏休み(～18日)
- 10日 山の日
- 11日 閉庁(～14日)
- 19日 休み明け集会



有意義な夏休みとなるよう、各ご家庭でもぜひ親子で計画を立ててお過ごしください。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。